

保護者各位

令和2年4月22日  
幼保連携型認定こども園  
城山保育園 園長 豊田 亮

## 熊本県からの休業要請をうけて

先日16日より緊急事態宣言が全国に拡大され、昨日(21日)熊本県より業種を絞った休業要請がありました。

私たち保育者は、第一に子どものため、そして育児を頑張るご家庭のために、時には自己犠牲を強いられるような場面においても、教育保育に務めています。新型コロナウイルス感染症の感染拡大が深刻化する中でも、自分たちの感染リスクを後回しにして保育を行っているのが現状です。

多くのご家庭より労いのお言葉や心温まるお言葉を頂戴し、とても嬉しく思っています。

日々、感染リスクを負いながらも、出勤しているのは、やはり「子ども」のためであり、私たち同様に感染リスクを負いながらも「社会のために」働いていらっしゃるご家庭のためです。

私達も毎日、「自分が感染していて園の子ども達や、家族に移してしまったらどうしよう？」と、不安に苛まれながら帰宅する日々です。また、当園は、141の世帯と38名の職員が出入りし、子ども園は、間違いなく3密です。換気は心がけていますが、密集・密接は避けられません。そして、この情勢の中、お預けになる保護者も不安な思いを抱えておられると思います。私どもも、子どもの感染リスクに晒してまで保育を続行すべきなのか！？と悩むところです。

園児や職員の中に1人でも感染者が出れば、数週間は完全閉園となることが予想されます。この時期に限定的にお預かりする業種の方々のお子様すら保育できなくなってしまうます。

それほどまでに現状は、緊急事態であるとの認識を全てのご家庭にご理解いただきたいと思えます。

つきましては、今後も休業要請に該当しない職業等、保育が必要な家庭のお子様をお預かりするという方針に変わりありません。

ここで再度のお願いです。上記の件ご理解をいただいた上で、家庭での保育が可能な方は継続してご協力の程、よろしくお願い致します。また、お預けになる登降園の際は、なるべくお一人での送迎をお願いします。